

# 磐城時報

福島縣磐城郡平町新屋町十四  
印刷部 印刷  
編輯部 編輯  
發行部 發行  
電話 磐城郡平町新屋町十四  
電話 磐城郡平町新屋町十四  
電話 磐城郡平町新屋町十四  
電話 磐城郡平町新屋町十四

## 平小鐵道豫定線の變更は實現可能

### 代議士木村清治氏談

平、小鐵道は既に昭和六年度から村治氏に譲渡され、省の豫定による平町から小名濱町に直通する計画であるが、沿線各地は何等恩恵を蒙る事が出来ないといふので飯野、高久、豊間、江名各町村長其他有志は豫定線を変更し迂回線として飯野、高久、豊間、江名を経て小名濱町に至るやうにして欲しいと過般來運動を續けてゐるが、この運動のため上京し鐵道省村井建設局長に會見した代議士木村清治氏は語る。

## 工費三十萬圓で 鮫川疏水復活

### 十一日有志が出縣

石城郡南の鮫川普通水利組合は萬圓を縣から補助をうけ十五萬圓を植田、小名濱、泉、渡邊、上原圓は水利権を條件として淺野、野、玉川二町四ヶ村に灌漑する一郎氏の寄附にまつ計劃でこの同地方における唯一の用水であるが、通水が思はずしく自然の消滅の状態に置かれて今日まで度々之が復活的工事が叫ばれてゐるが、愈々關係各村民から委員をあげ来る十二日頃陳情することになつた。工費は約三十萬圓にて十萬圓は組合が負擔し五

## 夏井川鐵橋 近く改修

夏井川鐵橋は、草野驛間夏井川鐵橋であるため各組合でも聯合會の

### 郡下に洩れなく 納税組合組織

平稅務署管内の四月現在における納稅貯金組合数は二百五十五組、納稅員四百八十八人、普通納稅組合二百八十五組、人員五千三百七十五人、計九千九百五十六人で同署管内七町廿七箇村人口廿萬人に對する割合は僅に五分に過ぎず従つて納稅成績に於ても余り良好ならざるため從來納稅組合擴張には相當努力し來つたが、納稅思想が一般に徹底されなかつたので、同署では今秋の御大典記念事業の意味に於て右七町二十七ヶ村町村役場と近く協議をなし協力して御大典記念納稅組合を全郡下に互に設立し大に納稅思想を普及すべく目下考案中であるが、時宜を得たものとして見られて居る

## 石城の果樹組合

### 十月 中聯合會組織

石城郡内の平窪、西小川、赤井組織を熟望し愈々十月中旬に郡内大倉、尾の内、内郷、大野、好九組合を打つて一丸とし聯合會を組織する事になつた。聯合會は、錦の各果樹組合長は昨報の如く七日午前十時から平町元石の聯合會を組織する件について物検査、レッタラの統一等であるが、石城郡内の果樹生産高は梨のみで一ヶ年五十四萬二千貫で、金額にすると十六萬二千圓に達し約三年前の二十三萬貫に比ぶると倍以上に膨脹し植田町小學校訓導秋山頼次（二）には百五十萬貫に達するわけで研究を重ねその實際経験をなすかうなれば袋のみで九百七十五万六千枚を要するといふ状態を期休暇中を利用して八月七日からなりその他肥料、病害虫驅除藥二十日間同町鍛冶町傘製造業猪品販賣器等の購入に際し共同狩方に弟子入りをするし傘の骨削購入をすれば非常な利益あり、りから紙は、油ぬり、仕上げ販賣方面に於ても共同販賣を行等一通りをすまじ歸校したが今へば遙かに利益を見らるゝわけ時珍らしい先生だと評判になつてゐる。

## 珍らしい先生

### 傘屋に弟子入り

石城郡玉川村大字住吉新町鎮靈縣社住吉神社々殿及び同郡大野村大字玉川字牧の下恩日寺の山門は今回特別保護建造物に指定編入すべく目下内務省特建係塚本慶尚技師及び本縣嘱託八代義定兩氏の手により一昨六日來實地の調査中で指定可能性充分なるものありと認められてゐるが同所の由緒は次の如くである

### 特別保護 建造物に編入

住吉神社の社殿と 恩日寺の山門

### 夫婦の坑内作業中 落磐で死傷

宮城縣刈田郡圓田村大字曲竹生佐藤一夫（十二）作山泰一（一〇）れ當該湯本町入山炭礦坑夫日下榮次郎（三八）は七日正午頃妻フミヨ（三二）と共に入山四坑で作業中落磐のため重傷を負ひ入山病院で加療中の處、間もなく死亡し妻は生命危篤である。

### 溜池で 少女溺死

四倉町新町生内郷村大字綴字一坪磐城炭礦坑坑夫菅原新作内縁の妻鈴木ヤス長男鈴木東市（七）は六日午後二時頃附近の溜池で溺死した。

### 街頭小品

丁度午後二時頃。市中はかんかん日が照りつけてゐる。街の商店は大抵白や褐色の日覆ひをかけてまぶしい光りを避けてゐる。日傘をさした子守や擔ひ商人がまばらに、のうげに午下りの乾きつつた町筋を歩かなくなつて働らいてゐる。警察署前の杉の樹の葉にそよよの風もない。夏の真夏の静かな小市街の趣き……

### 郡下に洩れなく 納税組合組織

平稅務署で計劃中の 御大典記念事業

### 夫婦の坑内作業中 落磐で死傷

宮城縣刈田郡圓田村大字曲竹生佐藤一夫（十二）作山泰一（一〇）れ當該湯本町入山炭礦坑夫日下榮次郎（三八）は七日正午頃妻フミヨ（三二）と共に入山四坑で作業中落磐のため重傷を負ひ入山病院で加療中の處、間もなく死亡し妻は生命危篤である。

### 溜池で 少女溺死

四倉町新町生内郷村大字綴字一坪磐城炭礦坑坑夫菅原新作内縁の妻鈴木ヤス長男鈴木東市（七）は六日午後二時頃附近の溜池で溺死した。

### 街頭小品

丁度午後二時頃。市中はかんかん日が照りつけてゐる。街の商店は大抵白や褐色の日覆ひをかけてまぶしい光りを避けてゐる。日傘をさした子守や擔ひ商人がまばらに、のうげに午下りの乾きつつた町筋を歩かなくなつて働らいてゐる。警察署前の杉の樹の葉にそよよの風もない。夏の真夏の静かな小市街の趣き……

身元不明の  
轢死体  
八日前五時頃平町松ヶ岡公園  
側の鐵道線路に年約二十五歳位  
頭髪をオールバックにした労働  
者風体の男の轢死体あるを發見  
平署から齋藤部長出張檢死した  
が身元不明である。

社告

十日は縣社子歛倉神社祭典に  
つき臨時休業可仕候

磐城時報社

ハガキ集

▲投書歓迎▲  
▲木村代議士についての面白い  
話をお知らせ致します。

先達ての事、木村代議士が大  
村屋旅館に投宿した際、入浴  
に行つた等の木村代議士がい  
くら過ぎて上つて來ない。  
待つてゐた人々は、あの黒い  
顔でそんなに長く湯に入つて  
ゐられては湯が真黒になるだ  
らうと心配し出し迎へに行つ  
て「ムクロジの實はいくらも  
いたつて白くはなりませんよ  
早く上つて下さい」と言つた  
ら流石と直ぐに上りました。  
▲木村さんの色の黒い事につ  
いては未だ、面白い事があり  
ます。東京で政友會代議士の  
初顔合せの際一同が型にはま  
つた自己紹介をしてゐるのに  
不満で木村さんは自分の番が  
來た時顔を前につき出して、  
「私は日本一の色男木村清治  
」と言つたので田中總裁も笑つ  
たとの事です。  
▲最近では、平警察署に於て色  
が黒いので自慢をしてゐる片  
寄警部補と怒々黒さ比べをや  
る事になつたが、まだ顔を合  
せないうち一目見ただけで木  
村さんの方が遙かに優秀な光  
澤を持つてゐるので片寄さん  
もあやまつたといふ事です。  
(ヨタ生)

來る十日縣社子歛倉神  
社祭典につき臨時休業  
可仕候

平 越 銀 行  
磐 城 實 業 銀 行  
七十七銀行平支店  
第七十七銀行平支店  
福島縣農工銀行平支店

淋病、消渴に奇妙に良きく  
濟 淋 特價(八日分一・五〇  
十六日分二・八〇)  
効力偉大なる、胃腸を害することなきは既に試用者各  
位の定評なり。病める方よ、一時も早く試用され病苦を  
去られよ。  
平町研町(公園下)  
製藥發賣元 水野藥局

ツルヤ洋品店の  
夏の子供服陳列會  
イタツラ着 三十錢より  
ボイル服 一圓四十錢  
富士絹服 二圓より  
御自由に御覽になられる様店內に陳列  
特に御勉め品霜降學生服  
壹號 一圓十錢  
貳號 一圓十錢  
參號 九錢  
目丁四平  
〇四一電

セメント 磐城セメント株式會社  
壁用材料 代理店 西村屋藥舖  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラヌ  
平町二丁目  
電話三番

クノ散 定價(二十錢・三十圓  
五十錢・一圓)  
一、本劑は神經系の鎮痛強壯内服藥として藥化學的に成功  
せる新劑なり  
二、故に齒痛、頭痛、神經痛、リウマチス等の神經系の諸  
症、偉大なる効を奏す、直ちに試みよ  
三、善は急げ、試験はタツタ五分間  
一、當地方信用ある各藥局各藥店に特約販賣せり  
特約店 平町五丁目角 山野邊藥局

靴とカバンは  
福山に限る  
平町役場前 福山支店

教授  
裁縫 奧田式及び水引細工  
華道 古遠州生花、小原流盛花  
茶の湯 裏千家  
平町白銀町(平劇場前)  
高橋光春  
電話六三八番

赤心堂病院  
外科一般、耳鼻科、花柳病科  
婦人科、産科、婦人科  
内科、X光線科

優良なる  
汽車印床脂  
殺菌防臭の効絶大なり  
代理店 關内藥局  
平町四丁目(電話四〇番)

▼ラチオの御用なら▲  
平停車場前高野自轉車店ラチオ部へ御用命を願ふ  
◎三球式(附屬品一切付キ)  
A 金百拾圓也 B 金八拾五圓也 C 金七拾圓也  
◎一球式 BA 蓄電池 (レシバー付)  
金 參拾參圓也  
部分品、ラチオ製作、取付工事其他  
高野自轉車店ラチオ部  
電話三二二六番

大衆向の實用腕時計  
仙臺放送局指定加入申込取扱所  
絶対他の追従を許さぬ破額品!!  
拾 拾 拾 拾 拾 拾  
型 入 石 入 石 入 石 入 石  
銀側拾貳型、ガラス拾石入  
勞働用に丈夫一式  
特價 五圓九拾錢

大谷時計病院  
滋養、強壯劑として愈々好評  
偉大なる藥酒 粟守酒  
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力  
栗守酒特約店 大平屋藥店  
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話六四三)